

(様式第1号)

## 指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和2年度）

施設の名称	名取市友愛作業所
指定管理者の名称	社会福祉法人名取市社会福祉協議会
施設所管部課（室）	健康福祉部社会福祉課

### 1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
平成4年4月～平成12年3月	直営		
平成12年4月～平成18年3月31日	管理受託	社会福祉法人名取市社会福祉協議会	
平成18年4月1日～	指定管理者	社会福祉法人名取市社会福祉協議会	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

### 2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	社会福祉法人名取市社会福祉協議会
	所在地	名取市増田五丁目13番35号
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年0か月）	
募集方法	公募 ・ 非公募	

### 3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市友愛作業所
所在地	名取市増田一丁目7番28号
設置年月	平成4年4月（精神障害者通所施設として設置）
根拠条例等	名取市障害者支援施設条例、名取市障害者支援施設管理規則
設置目的	雇用されることが困難な、市内に住所を有する在宅の障害者に対し、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく就労移行支援、就労継続支援を行うため。
施設の内容	訓練・作業室、食堂兼作業室、多目的室、移行訓練作業室
開館時間	午前9時～午後4時
休館日	土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始(12/28～1/4)
指定管理者が行う管理運営業務	就労移行支援の実施に関する業務 就労継続支援の実施に関する業務 施設の維持管理に関する業務 その他市長が別に定める業務
利用料金制度	採用の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
	利用料金の名称：施設の利用に係る料金

#### 4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（%） （A） / （B）
	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
開催日数	243日	252日	255日	96.4%
延べ利用者数	4,626人	4,960人	4,952人	93.3%
利用者数（人/日）	19.0人/日	19.7人/日	19.4人/日	96.4%
主な増減原因	新型コロナウイルス問題で利用者が一時期減となっているが、その後、少しずつ利用者が増えつつある。			

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

#### 5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

（1）収入

（単位：千円、%）

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（%） （A） / （B）
	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
指定管理料	6,000	6,000	6,000	100.0%
利用料金収入	29,330	28,658	27,436	102.3%
その他	5,379	4,080	4,907	131.8%
収入計（ア）	40,709	38,738	38,343	105.1%

（2）支出

人件費	25,677	26,773	24,195	95.9%
施設管理費	4,086	2,278	2,653	179.4%
事業運営費	2,293	2,431	2,281	94.3%
その他	4,645	4,145	4,742	112.1%
支出計（イ）	36,701	35,627	33,871	103.0%

（3）収支

収支（ウ）＝（ア） －（イ）	4,008	3,111	4,472	128.8%
前期繰越収支差額	36,779	33,668	29,196	109.2%
次期繰越収支差額	40,787	36,779	33,668	110.9%

**6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み** 【指定管理者記入】

コロナ禍の中で、体験会の希望者を受け入れるなど、利用者数の増加等を図っている。

**7. 施設利用者の主な声やその対応状況** 【指定管理者記入】

コロナ禍の中で、活動内容に制限があるが可能な限り、リフレッシュ活動日を設け活動を実施している。

**8. 施設の管理運営における課題** 【指定管理者記入】

老朽化した施設で、トイレの問題は本年度改善することができた。  
想定外の「新型コロナウイルス問題」の拡大で、管理運営の推進に課題が残った。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	◎
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
		法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○
	法令等の遵守	開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
その他、関係法令等が遵守されている。		○	○	
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価		指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○
	実施	業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	◎
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	◎
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	◎
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

**【評価の基準(目安)】**

評価		評価の考え方
◎	(優良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「—」を記入する。

**10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】**

業務内容の全般について、関連する基準等を遵守するとともに協定書等に定める業務を適正に実施している。  
また、令和30年度からの決算状況をみると各年度共に黒字経営となっており、安定化が図られている。  
なお、令和2年度決算については、コロナ禍で利用者数が少なくなったが施設外就労等に取り組んだこともあり利用料金収入及び受託収入が増となっている。一方、事業支出については、社用車の更新やコロナ対策にかかる経費等もあり施設管理費が増したが、事業収支差額は、令和元年度より改善している。  
今後も障がいのある方への一般就労に向けての訓練や雇用されることが困難な障がいのある方への活動の機会を提供する場として重要な役割を担っており、これまでどおり寄り添った事業展開を期待する。